

2023年4月24日

課題名：神経腫に対する放射線治療計画の比較検討

◆研究の目的と概要◆

本研究は、神経腫に対してマルチリーフコリメータを用いた陽子線治療の有用性について調べることによって放射線被ばくによる副作用の低減を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

放射線治療科において、2015年1月から2020年5月までの間に、神経腫で放射線治療を実施した方。

◆研究に使用される情報◆

CT画像、年齢、性別、全身状態評価値、輪郭情報、前治療歴、病理結果、線量分布、CTV・PTVのD95%やDmaxやComformity Indexなどの線量指標、腫瘍付近のリスク臓器のD2%などの線量指標、治療時間、線量計算時間

◆研究方法◆

上記情報・試料を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、下記機関に対して情報を提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 放射線技術部 園田 泰章が主体となって実施しており、医療法人伯鳳会 大阪陽子線治療クリニック 富永裕樹、川崎医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線技術学科 宮田 潤也が参加しています。

共同研究機関ホームページ：<https://www.hakuho.or.jp/opc/>
<https://w.kawasaki-m.ac.jp/>

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、また、既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

放射線技術部門 研究責任者 園田 泰章

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明